

# 自己評価結果公表シート（年少）

札幌白ゆり幼稚園

## 1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
集団生活における基本的な生活習慣を身につける	苦手なことにもチャレンジし、成功体験を積み重ねることを増した。
教師の指示に従って行動出来るようになる	姿勢良く座る・目を見て話をきくを意識づけて、教師の指示を1回できく習慣をつけた。
園外保育での活動をスムーズに出来るようにする	集合・整列を日頃から徹底し、園外でのお約束を常に確認した。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	机での活動を中心に、めりえやフラッシュカードを99く取り組み、基本的な生活習慣を身につけた。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	参観日を通し、日々取り組んでいたことを行い、一着にめりえをすることで成長する姿を見てもらった。
「ルール」に対する意識改革（ゲーム等遊びを通して）	ルールのある遊びの中で、お約束を守り、お友達と遊ぶことの楽しさ・大切さを伝えた。
クラス全体のレベルアップ	沢山の成功体験から自信に繋げるために、小さな目標を設定し、更なるレベルアップを図った。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	1学期に養った力を活かし、ドリル活動を45分間延長する時間と楽しむ時間のメリハリを大切にしたり。

クラス全員が出来ることを増やす	学年全体で底上げをし、少しずつできることを増していった。
年中に進級する為の基礎作り	子どもがどうするべきか分からない場合、教師はすぐ答え教示するのではなく、一度自分で考えさせる力を身につけた。
毎日継続することの大切さを実体験させる	個人に合った目標を定めて、小さな成長を見逃さず、3尺山高めの向上心を
年間保育計画に沿った保育を心掛ける (3学期)	継続力と集中力を身につけるために、ドリル・本読み・3トレを毎日続けて習慣づけた。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	指導計画案を元に具体的な目標を定め、学期ごとに目標達成するような保育を展開した。ほとんどの子どもが、年中に向けて必要な基本的な生活習慣や心を身につけて進級することができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
集中力の向上	メリハリをつけた保育を行い、更に目をつぶ、7分待つなど静的な環境をつくる。

# 自己評価結果公表シート（年中）

札幌白ゆり幼稚園

## 1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
集団生活における基本的な生活習慣を身につける	毎日の生活の中で“身につくように、継続して取り組んた”。
自分で考え行動出来る環境設定を心掛ける	子どもたち自身が“自分で考え、答えを出せるように促した”。
クラスのレベル、個人のレベルを把握しそれに合った保育展開	個々の目標を明確にし、保育者同士で共有することで“個々に合った保育を展開した”。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	子ども達の現状を把握し、年間保育計画に沿いながら、年中としての基礎を固める。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	参観日やドキュメンテーションを通して、成長課程を沢山伝えた”。
心の揺れ動きを実体験させる	沢山の課題を与え、成功・失敗を経験する中で“様々な気持ちを共有した”。
クラス全体のレベルアップ	子ども達同士で教え合える環境作りに努めた”。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	大きな目標に向かって、練習を重ねる中で、協調性や達成感を学んだ”。

個人のレベルアップに重点を置いたカリキュラム作り	クラスや学年の枠を越えて情報を共有し、自発的に取り組めるような環境を作った。
年長に進級する為の基礎作り	自分の気持ちを伝えられるように、自己発言の場を多く設けた。
毎日継続することの大切さを体験させる	逆立ち等の課題活動を通して達成した時に保育者やお友達と喜びを分かち合った。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける(3学期)	1年を通して積み重ねてきたことで、達成感を感じ、自信を持って進級できるように

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

過ごした。

結果	理由
A	例年の行事が復活し、様々な課題に挑戦することで楽しんで幼稚園生活を過ごせるようにした。 課題を明確にし、努力を積み重ねていく中で、お友達を応援する気持ちが芽生え、成長を感じられた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
リ-ダ-としての自覚を持つ	常に見られているという意識を持つように促す。
課題を通して沢山の自信をつける	小さな目標を立て、沢山の成功体験を得られるようにする。

# 自己評価結果公表シート（年長）

札幌白ゆり幼稚園

## 1. 園の教育目標

- ・人間が人間として生きていくための力（自立）を育てる。
- ・幼児にふさわしい集団生活という環境を与えることによって、『自立・自主』の心を育て、人間としてふさわしい人格形成の基礎を育てる。
- ・『心の力』『体の力』『学ぶ力』を育てる。
- ・『あたりまえ10箇条』を柱とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って評価をし、各教師が自園を客観的に見ることによって、改善し更なる向上を目指す目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
集団生活における基本的な生活習慣を身につける	これまでに身に付けた生活習慣を継続出来るように促した。
年長児（リーダー）として自覚を持たせる	行事や活動を通して意識を高められるような環境を作り、声掛けを行った。
様々な体験から物事に対する自信を持ち課題に対する意欲を育てる環境設定	一つ一つの成功を認め、活動に対する楽しさを感じられるようにした。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（1学期）	出来ることは継続しながら、新しいことにも挑戦していった。
保護者へ子ども達の成長をアピールする（行事を通して）	仲間と力を合わせ、最後まで諦めず頑張る姿を見てもらった。
出来ることをどんどんさせお手伝いの場を与える	他学年との交流の場を作り、子ども達が率先してお手伝いできる環境を作った。
自ら意欲的に環境設定出来るような関わり	何事にも自信を持って取り組めるよう子どもたちに寄り添った。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける（2学期）	1学期までの積み重ねを力にかえて、2学期は更なるレベルアップを目指した。

就学に向けての意識向上を心掛ける	小学校周間で期待感を高め、また近隣の小学校との連携を図り、理解を深めた。
幼稚園生活の思い出作りの場作り	人数等、工夫をしながら、昨年よりも多くの行事を行った。
毎日継続することの大切さを実体験させる	努力を続け、目標を達成した喜びを分かち合い、更なる高みを目指した。
年間保育計画に沿った保育を心掛ける (3学期)	3年間の経馬を生かし、就学先でも自信を持って生活出来るよう過ごした。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	制限が少しずつ解除され、他学年との交流が増える中で、年長児としての自覚を持って過ごせたことで、心も体も大きく育つため。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園で学んだ事を忘れずに、就学先でも頑張してほしい。	新しい環境に慣れる中でも、今まで学んできた事を忘れずに、充実した日々を過ごしてほしい。